

受験対策プリント

# 看護学校を目指す人へ



## 看護の道を目指す人へ

今回は、看護の道を目指している人、迷っている人に対して受験対策に必要な準備をまとめました。なぜ看護系だけに絞っているかという、他学種や他学部とは入試が異なる点が多いからです。看護学校に進むということは、看護師になることがほぼ確定することでもあるので、真剣に考え、覚悟を持って決めてもらいたいと思います。

まず、看護師という仕事は、給料が高いこと・働き先に困らないことなどがメリットであると知られています。ただ、その分ハードな業務が待っています。患者さんが暴れたり、言うことを聞いてくれないこともあるでしょうし、時には排泄物の処理、血を流している現場での対応、そして「死」に立ち会うという経験もしていかなければなりません。実際に看護師の人に話を聞くと、これだけのことをしているのだから、もっと給料をもらってもいいと言います。それだけ大変な仕事であることを知っておいてください。離職率が高いことから分かるように、中途半端な気持ちでなってしまうと、すぐに辞めてしまう仕事だと思います。

だからこそ、学校での指導や実習も厳しいですし、忙しい日々になります。高い学費を払って、途中でリタイアするのはもったいないので、覚悟を決めて、入試に向かってもらいたいと思います。

脅すようなことを書きましたが、当然やりがいもある仕事ですし、看護師の需要は高く仕事に困ることはありません。その上で、平均以上の給料が保証されることも大きな魅力です。やるからには立派な看護師になってもらって、豊かな人生を送ってもらいたいと思っています。まずは進学のハードルを乗り越えていきましょう！

## 看護系統の受験傾向

看護系統の受験傾向として、一番大きいのは「人物重視」という点です。コミュニケーションを取れない人は看護ができないし、チームでの連携が必須の仕事なので、人間性の評価が非常に重視されます。ゆえに、専門学校も多くは面接試験がありますし、国公立大学の推薦入試でも面接の配点が大きくなってきています。しっかり練習して、自分らしさを最大限発揮できるようにしましょう。

また、どんな学校であれ、一定の学力が求められます。これは卒業前に国家試験を突破する必要があり、最低限の学力がないと看護師になれないためです。そもそも、勉強が全くできない人が情報を理解できないまま看護をしてしまったらどうなるか…。恐ろしいですね。

人の命に関わるミスをしてしまうかもしれません。そのため、しっかり勉強して、覚えて、定着させるということを最低限出来る人が求められています。

近年、看護希望者が増加傾向にあり、簡単な入試ではなくなっています。コロナ禍で人気も高まっているようです。早い時期から面接練習の準備を始め、できる限りの対策をしていきましょう。

## 面接の下準備

看護学校には、多くの入試で面接が課されます。(私大は無い所が多い)

学力試験と同等、もしくはそれ以上に対策を練りましょう。

面接の準備は早めにしておいても損ではないので、自分の考えを整理し話すことをまとめるノートを作りましょう。そして、一番最初の課題として以下の3点をまとめていくこと。これはいつでもできるはず。

- ①自分はどんな人間か(長所、アピールポイント)
- ②自分はどんな看護師になりたいのか(理想像)
- ③自分がこれまで努力してきたこと(実績)

この3点は全体の軸になる部分。ここをしっかり作ることで、面接の回答がぶれなくなる。

自分を見つめ直し、PRするポイントを考えよう。**この3つがしっかり繋がるのが理想!**

(例)①負けず嫌いで努力をすることが長所

②常に勉強する姿勢を忘れず、どんな事態にも対応できる看護師になりたい

③部活動でレギュラー入りを目指して努力をし、県大会出場の実績を残すことができた

このような自分の軸を決めていく。自分でわからなければ、親や友人に聞いてみよう。

これができたら、あとは細かい質問に答える準備をする。別紙で面接の質問例をまとめたので、余裕があればこれもノートにまとめていくといい。参考にしてください。

## ★面接ノートのまとめ方

\*1ページに1つ質問を書き、答えをメモする。

(後から追加したり書き直しができるように、広いスペースに書くといい)

\*まとめ方は、文章より箇条書きがおすすめ。自分の伝えたいことを箇条書きで書き出してみよう。

\*答え方は「結論」→「エピソード」の順番。使えるようなエピソードはどんどん書き出しておこう。

☆ ☆

**あなたの長所は?**

— \*負けず嫌いなところ —

— ・部活でレギュラー取るために自主練習をした —

— →試合に出れるようになり、県大会にも出場できた —

— ・苦手教科を克服するために朝早くから勉強した —

— →テストの点数を倍以上上げることができた —

面接ノートを丁寧に作れば  
本番の見直しも安心!  
夏休みに作り始めましょう!